

2019年11月22日(金) -平潟沖-

前日まで迷っていましたが、予定していた29日の天気予報は大風の予報。土曜日の23日も荒天の予報。残されたのは22日金曜日だけ。予定していない休みなので、言い出しにくい感じだが、ここは、ワークライフバランスを実践！ということで、木曜日の午後に「とも丸」さんに電話を入れると、スロージギングは予約が入っていないので夕方まで待って！他に予約が無いときはゴメンナサイとのこと。残り3時間。諦めの中、休みだけはとって、船が出ないときは家族サービスと割り切ることに。

ほぼ諦めていた18時。とも丸さんから電話が入る。船長が出てくれるとのこと、直後に若船長からも電話が入り、魚を探したいので出ますよ！とのこと。感謝！感謝！です。

当日、5時半集合とのことなので、5時過ぎに平潟に到着。すると、すでにお客さんは集合しており、大船長、若船長が作業中。「とも丸」の方の網を下ろし、第11とも丸と2隻出す体制のよう。もしかして、私の予約がきっかけ？なんか申し訳ない感じです。

さて、スロージギングの方は、私だけ？と心配していたけど、他に2名が乗船。くじ引きの結果、私はトモに入ることに。今まで100%右舷オモテだったので初のポジション。

6時に出港。いつもより幾分沖に出た感じがしたが、水深は約50mと何時もの水深のようだ。今回は3名ということもあってか？パラアンカーを入れて流しながらの釣り。赤金を付けて！との船長の指示に従い、シマノのジグを投入。しばし、沈黙ののちに初ヒットはマサバ。もちろんこれは食材にキープ。その後もサバを2尾追加したのみで、今一活性が低いようだ。

2、3回流したところで、再びヒット！手ごたえはサバ並み？で軽く巻いてくると、途中から急に暴れだす、何だろうと思ひながら水面に浮いてくると、イナダのダブルヒットだ。途中で1尾が追い食いしたようだ。何とかタモに入れた時には大きい方だけ残っていました・・・

周囲も同じ感じでしたが、オモテに入っていた人が大型をヒット。しばらくやり取りをしていたので、ブリ級？と思っていたが、どうも、大型を掛けた経験があまりないようで、船長にバトンタッチした瞬間に魚が浮上。これはワラサ級でした。その後もドウやオモテでは両型のタチウオなどがヒット。対する私は、リリースサイズのヒラメやマトウダイ。ようやく食材となったのはホウボウの2尾だけでした。11時頃からは、完全に静まり、最後は30m付近まで入ってきましたが、追加ならずで終了となりました。

まあ、出られないと思っていた中での出船。十分満足できた釣行でした。久しぶりに本気のジギング。全身筋肉痛でした。

[とも丸さんのサイトへ](#)



一尾目はマサバでした



人生初？たぶんの「マハタ」です



こちらは綺麗なマトウダイです。何を思って大きなジグに食いつくのでしょうか？